

篠山鳳鳴高校が開設したフリスでプログラミングによるドローン操作を楽しむ子ども＝丹波篠山市網掛で



ドローン操り歓喜

学びフリス 高校生が体験フリス

「第11回たんばっ子！ 篠山鳳鳴高校は、3年学びフリス」(同実行委員会主催)が23日、四季の森生涯学習センターで開かれた。小学生が学校や家庭ではあまり体験できないような学習の機会を地域内外の団体や丹波地域の高校生が「体験型ワークショップ」として提供したほか、海外在住の日本人の児童と交流しながらクイズに答える「オンラインチャレンジQ」などが催され、にぎわいをみせていた。

体験型ワークショップはコロナ禍の影響で4年ぶり。6高校がそれぞれの学びの特色を生かしたフリスを開設し、子どもたちを楽しませた。

2023年11月26日
丹波新聞

さん(味間小2年)は、「予想とは違った動きをしてみたら、ドローンが無事にゴールにたどり着いたので、すごく楽しかった」とほほ笑んでいた。

また、「子どもの発達と保育」の授業の学びを実践しようと、女子生徒たちはフリスの受け付けを担当し、子どもたちに優しく接していた。

篠山産業高校は時計作りワークショップを、篠山オンラインチャレンジQは、テヘラン(イラン)、クアラルンプール(マレーシア)の日本人学校とオンラインで結び、現地の日本人の子どもたちが出題する「SDGs」(持続可能な開発目標)をテーマにした三択クイズに挑戦した。

山東雲高校は飼育しているウサギの夏毛を使ったマスコット作りなどを催した。学生や若手社会人で構成する「たんばっ子」